

徳泉寺報

No.002

発行
平成 29 年 12 月

発行元 徳 泉 寺

仙台市宮城野区
榴岡 3-10-3

(022) 297-4248

開催終了

お寺・DL・DLらいぶ

ーMSやまねこ屋 リーディングパフォーマンス

十一月十九日、徳泉寺本堂にてIMSやまねこ屋によるリーディングパフォーマンスが開催されました。リーディングパフォーマンスとは朗読を一步進め、お芝居の要素を取り入れた『魅せる!』読み聞かせのスタイルです。メンバーは学校の先生や主婦の方など六名。そのなかの一人が近隣小学校の職員だった縁で徳泉寺本堂での公演が始まり、今年で4回目の開催となりました。

この日は仙台で初雪を観測し、朝からきりつと引き締まった空気でしたが、観客は子どもを含めて六十名ほども集まり、前半分をステージにした本堂は満員の大盛況でした。

御俗姓(ごぞくしやう) 拝読

開催に先立ちまして、住職により御俗姓を拝読致しました。御俗姓とは親鸞聖人の一生と報恩講の意義が書かれた御文(おふみ)で徳泉寺では親鸞聖人の一生を描いた掛け軸に合わせて、毎年報恩講に拝読しています。識字率の低かった時代、絵と耳から聞く御



御俗姓拝読

文は教えを伝えるために大変大切にされたこととされます。まさに絵本や読み聞かせのルーツとも言えるこの御文を紹介させていただいたところ、初めて見聞きする方が多く、興味と驚きをもって拝聴いただきました。

リーディングパフォーマンス

いよいよパフォーマンスの始まり。演目は

宮澤賢治『どんぐりとやまねこ』

平家物語より『足摺(あしづり)』

寺山修司『少女詩集』より

落語『はつてんじん』

サンデグジュベリ『星の王子様』抜粋

児童文学から古典まで幅広い演目で聴く人を魅了します。大きく張りのある声を自在に操り表情豊かに身体全体で文学作品を表現するさまに会場中が一体となり、時に笑い、時にしんみりと公演を楽しみました。特にほんとうに面白そうにこども達が笑うと、その声に大人がつかれて笑いの連鎖が起こり、笑い声が本堂に響いてみんなでひとつの作品を楽しむ素晴らしさを体感することができました。終了後は演者も観客も一緒にお茶を飲み、感想を言ったり文学談義に花を咲かせたり。外は寒くとも心は温かい一日となりました。

又学とお寺は相性がいい!

毎回やまねこ屋さんの公演を聴くと感じます。美しく洗練された言葉や先人の息遣いを感じる言葉が本堂に響くと、それだけで心が震える気がします。



やまねこ屋のみなさん



大型絵本を使った演目



公演の様子